

事業番号	事務事業名	鏡野町婦人協議会補助金	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
05985	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	生涯学習係	担当者・シート作成者	池田 亜加理
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町婦人協議会補助金		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町婦人協議会への補助金交付事務	明治・大正時代に行政指導により、全国的に婦人会がつくれ、戦後に組織が民主化された。平成17年に旧町村の婦人会を統合して、鏡野町婦人協議会が発足。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 鏡野町婦人協議会	ア 会員数	人	見込 実績	96 96	96 82	82 79	79	79
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 婦人協議会の活動を充実させる	ア 婦人協議会関係の事業への参加回数	回	目標 実績 達成率	25 28 112.0%	25 20 80.0%	25 10 40.0%	20	20 50.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 補助金交付事務	ア 補助金交付回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 06	目 01	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号	
	一般会計	教育費	社会教育費	社会教育総務費	11	06	鏡野町婦人協議会補助金					05985	
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	500	500	500	500	500		一般財源	500	500	500	500	500	
合計	500	500	500	500	500		合計(A)	500	500	500	500	500	0
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1	
	延べ業務事務時間						20	20	20	20	20	20	
	人件費計(千円)(B)						68	70	67	67	67	67	-3
最終予算額		500千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		568	570	567	567	567	567	-3
主な支出事業内容(予算)	負担金、補助及び交付金補助金						500千円						
	主な支出事業内容(決算)						負担金、補助及び交付金補助金						500千円

事業番号	05985	事務事業名	鏡野町婦人協議会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年の町婦人協議会発足時の会員203名が79名に減少。県婦人協議会を平成24年に脱退。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
合併当初、補助金減額の動きがあった。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
行政や議会関係者は、婦人協議会の活動に期待している。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	婦人協議会の活動支援は、生涯学習の推進と結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	行政が主催するイベントや地域公共交通会議、青少年健全育成協議会などに参加、協力しており、公共関与の妥当性がある。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	会員の大半が子育てを終えた人や退職者で、年齢層に偏りがある。会員のいる地区も偏っている。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	若い層が参加すれば、活動の幅が広がる。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	補助金交付事務自体には、改善の余地はない。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	補助金交付事務自体には、改善の余地はない。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助金交付事務だけであり、削減余地はない。
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助金交付事務だけであり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	鏡野町婦人協議会を構成しているのは、郷・上齋原・富地区の3つの婦人会である。これら以外の婦人会はすでに解散している。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・活動はそれぞれ行っているが、会員が高齢化しており、また、地域も偏っているため会員が減少し増加が見込めない。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや事業が中止となり、例年通りの活動ができず、活動機会が減ってしまった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 地域での啓蒙活動を行い、新規会員の獲得に努める。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
若い人にも受け入れられる婦人会の体制作りを継続して行っていく必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							